

ほけんだより ~特別号~

令和2年2月5日
茨木市立北中学校 保健室

教室内の空気検査をしました！

1月30日(木)に、学校薬剤師さんの古家先生と、教室の空気検査をしに行きました。2-2、2-3の授業中に、時間をおいて2回測定しました。その結果をお知らせいたします。

検査結果 ●1月30日(木)5限 【天気：晴れ 気温：12.7℃ 湿度：48%】

年組	室温	湿度	二酸化炭素濃度 基準:0.15%以下	一酸化炭素濃度 基準*10ppm以下	換気扇	休憩時間の換気	ストーブ
2-2	19.0℃	53%	0.20%	0 ppm	○	×	○
(2回目)	20.5℃	48%	0.20%	0 ppm	○		○
2-3	16.6℃	53%	0.13%	0 ppm	○	×	×
(2回目)	20.2℃	44%	0.12%	0 ppm	○		×

2-2は二酸化炭素濃度が基準値より高く、インフルエンザや風邪が広がりやすい環境です。教室のように人口密度が高いと、こまめに換気を行わないと、空気はすぐに汚れてしまいます。
でも! 2-3は基準値より低く、検査の際に教室に入った時にも、「2-2より空気が良い!」と感じるほどでした。2つの教室を測定していて気付いた違いとは…?

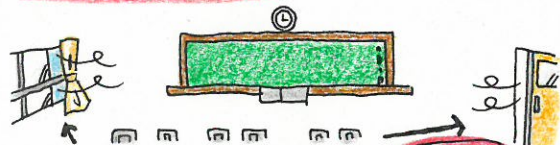
- 2-3は…
- ① ストーブをつけていなかった!
 - ② 廊下側(換気扇と反対側)のドアが10cm開いていた!



換気の方法

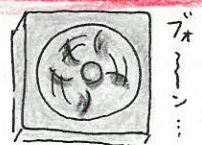
重要なのは「窓を少しでも開けているか?」なおかつ、「対角線」に開けるのがかなり有効!

①窓を常に開けておく



常時10cmずつ開けておく!
ちゃんと良いから
両側とも!!

②換気扇をつける(常時)



教室の換気扇をチェック!

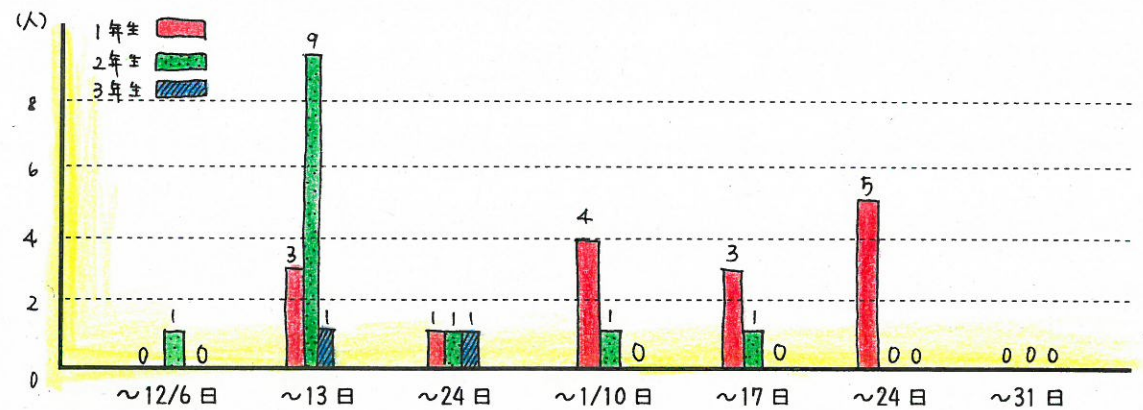
しかも、この方法は、室温はそこまで下がらず、空気の汚れがゆっくり入れ替わっているため、「寒い」という実感が少なく空気の入れ換えができます!



ストーブをつけていると、空気が汚れる早さは増します。頭がぼーっとする、集中力が散漫になる、気分が悪くなる、頭痛、教室に入ったときの嫌な臭いも空気が汚れているサイン!その時は思い切って窓を開けて一気に空気を入れ換えましょう☆

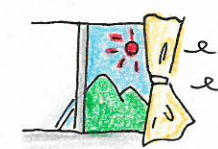
インフルエンザの発生状況

北中学校の12月からのインフルエンザの発生状況です。今年はインフルエンザが出てクラスで広がらずに済んでいます。1・2年生は学年末考査、3年生は受験間近…念には念を! 疲れを溜めず、予防をしっかりと、この冬を乗り切りましょう!



予防は、もちろん、

- 石けんで手洗い
- うがい
- 教室での換気
- マスクの着用



あと、調子が悪い、微熱があるなどで学校へ来るのは、他人にうつしたり、免疫が落ちているのでインフルエンザにかかりやすい状態です。頑張る気持ちは分かるけど、無理をせずに休みましょうね☆